

標 題 | 魅力発見！邑智郡農業塾！発進！！

(ダイジェスト)

邑智郡農業士会は、JA女性部、青年連盟及び関係機関と連携して矢上高校の産業技術科1年生30名を対象に出前授業を実施しました。

第一回(6/17開催)は、月山会長外が講師で2時間の授業を行い、第二回(7/8開催)は会長ほか会員3名も参加して視察やドローン防除デモ、郡内農産物試食など盛りだくさんの一日でした。

1 経過

邑智郡農業士会(=会長:月山正幸氏、会員数:9名)では、「矢上高校の生徒に農業の面白さと邑智郡農業の良さを伝えたい」、「邑智郡農産物のファンを増やしたい、将来邑智郡で農業を始める人を増やしたい」と、昨年夏から地元関係機関と連携して矢上高校と具体化を進めてきました。

その過程で、高校は3月には年間スケジュールが固まっていること、矢上高校は生徒の半数が県外出身者であることなどの発見がありました。このため、昨年1月から今年度のスケジュールを基に企画・検討し、標記の出前授業を開催しました。

2 内容

(1) 第一回「体験報告編」

県外出身の生徒を意識して、邑智農業部職員による「本県農業と邑智郡農業の概要」に始まり、JAしまね島根おおち地区本部職員と月山会長による「郡内特産物紹介」と「ドローンの実物展示・動画プレゼン」、「米の等級あて・品種当て演習」を実施しました。

(2) 第二回「視察編」

ほぼ一日かけてブドウ「神紅」ほ場、農業士会会員による農機デモ・乗車体験、郡内農産物試食、ドローン防除デモ、JA米倉庫・野菜集出荷施設、産直施設「道の駅みずほ」を見学しました。

アンケート結果では、JA女性部に準備いただいた「石見和牛肉ライスバーガー」の試食が最高得票だったほか、「初めて見た、初めて聞いたことが多かった」との記述が多く見られました。

3 成果と今後について

産業技術科の1年生はこの時期、コース選択の前に当たるため専門的な内容にせず、「楽しかった」、「農業は面白いな」と生徒に思われるよう企画をしたところです。

今後は、関係者で反省会を開き、次年度に向けたブラッシュアップを行う予定です。



月山会長が演習指導(6/17)



ブドウ・神紅視察(7/8)



農機試乗体験(7/8)



地元農産物試食(7/8)